

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します!



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部環境生活政策課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1 (県庁6階)
電話 058-272-8199



第11号
平成28年12月発行

19 特定非営利活動法人 まめに暮らそまい会

事務局：〒509-8231 恵那市中野方町2339-13 理事長：井戸 茂利夫 会員数：正会員 53名・賛助会員 263名
(ふれあいセンターまめの木内)

地域の概要

岐阜県南東部に位置する恵那市は13地域からなり、中野方はその最北端にある。同地域には日本の棚田百選に選ばれた「坂折棚田」や生産量日本一を目指している「えな笠置山栗園」が広がる笠置山などがある。世帯数は544戸、人口1,615人(住民基本台帳 平成28年11月1日現在)で、現在の高齢化率は39%強と高く、少子高齢化が進んでいる。

現在に至るまでの経緯

●発足のきっかけ

平成9年に十数名の仕事を抱えた主婦たちが、「いずれ、親の介護が必要になったときのために」と、公民館講座で介護教室に参加したことがきっかけとなり福祉活動を開始。今では地域の総合的な福祉を担うまでに発展している。

●活動の変遷

○平成12年

- ・独居の方に対する見守り、声かけの活動を行う「ももの会」を発足。
- ・配食サービスグループ「ささゆり会」に参加。

○平成15年

- ・岐阜県が行う「ふるさと福祉村(福祉区)調査研究事業」のモデル地域となり、「まめに暮らせて・わくわく人生・みんなで支えあうまち」をスローガンに、新たに「まめに暮らそまい会」を発足。
- ・地域で抱えている課題を導きだし、今後の活動に反映させるため、中野方地域全戸にアンケートを実施。その結果を踏まえ、地域住民に当会の主旨を知ってもらうため、また、支え合いの意識と福祉活動の大切さを広めるため広報紙を発行。

○平成16年

- ・「ふるさと福祉村(まめに暮らそまい会)」として新しく設立。
- ・研修を重ね、高齢者と子どもの交流、支え合いマップづくりを進める。

○平成17年

- ・「中野方まちづくり委員会」が発足し、その中の「ふるさと福祉村部会」を構成する団体の一つとして位置づけられる。
- ・学習療法士の資格を取得し、認知症予防のために脳のいきいき健康教室(まめくら学校)を開校。
- ・子育て広場、春休みと夏休みの親子教室、各種講座を実施。

○平成20年

- ・「支え合いマップづくり」は、防災マップとしても活用できるため、中野方自治連合会(現:中野方自治振興会)と共用して活用するようになる。

○平成23年

- ・「誰もが生涯安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、「まめに暮らそまい会」のNPO法人化に向け、事業内容や方向性について地域内にアンケートを実施。

○平成24年3月

- ・「NPO法人まめに暮らそまい会」を設立。そして、新規事業「おきもり(当地域では農作業を互いに助け合うことをこう呼んでいた。)送迎(運営団体が中野方地域協議会から移行)」、「子育て支援」、「家事サポート」、「お弁当宅配」、「ふれあいサロン」を加え活動を実施。



平成17年 支え合いマップづくり会議



見守り事業情報交換会

●活動拠点のオープン

平成27年に中野方子ども園が新築されたことにより、取り壊される予定だった旧保育園を地元から市に強く働きかけ、中野方自治振興会が無償譲渡を受けた。

「ふれあいセンターまめの木」と命名し、平成28年4月から地域福祉の拠点として当会が管理運営することとなった。

新しく「まめくらクラブ（高齢者の居場所）」と「ふれあいサロン（誰もが集える場所）」を設け、現在も精力的に活動を続けている。



銘板除幕式



活動拠点「ふれあいセンターまめの木」

●新たな取組み

経営基盤強化、後継者の雇用へと繋げるため、「菓子製造業」の認可を受け、平成28年8月から、お菓子の製造販売を開始。



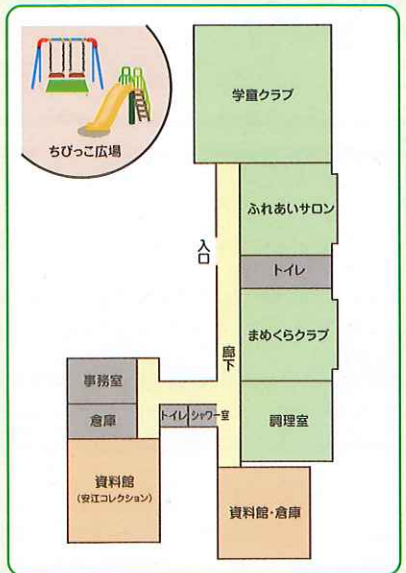
ポイント

当会の最大の特徴は、学童保育と高齢者の活動を同じ建物の中で実施していること。

世代間のつながりが希薄になっている状況の中で、世代を超えた交流が高齢者にとっては癒しや生きがいとなり、子どもたちにとっては高齢者から温かい言葉がけがいただける場所になっている。また、中野方地域の方々が積極的にボランティアとして活動しており、地域の絆が深まっている。

「ふれあいセンターまめの木」を拠点とした具体的な事業内容については、次号（平成29年3月発行予定）でご紹介します。

まめの木 案内図



ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

～自治会・町内会活動をはじめ、地域の住民同士が支え合い・助け合う活動を行っている、または始めたいと考えている皆様へ～

地域が抱える課題（防災、子育て支援、防犯、高齢者の見守りなど）の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターとして岐阜県コミュニティ診断士（※）を派遣するなど、要望に応じて課題解決の応援をします。

詳しくはホームページ検索サイトで、**地域の課題解決応援事業** **検索**

〈派遣事例〉安八郡神戸町「神女（かみじょ）会議」に、アドバイザーとファシリテーターを派遣



神戸町「神女会議」のグループワーク

※岐阜県コミュニティ診断士とは

地域コミュニティの現状について調査・分析を行い、それにより明らかとなった諸課題について、地域住民、自治会、NPO、企業など地域の様々な主体と協働して、その解決・改善に取り組み、地域コミュニティの再生・活性化を推進するコミュニティの専門家です。

平成14年度より県と岐阜経済大学が共同認定しています。

詳しくはホームページ検索サイトで、**岐阜県コミュニティ診断士** **検索**

〈活動事例〉平成28年度学びによる地域づくり活動実践講座（笠松町）

平成28年度学びによる地域づくり活動デビュー講座（美濃加茂市・北方町）



美濃加茂市のグループワーク